

ダイチンへの9つの質問（2016年8月18日）

ハダより

1. 「モンゴル自由連盟党」「南モンゴル自由民主運動基金会」「南モンゴル文化促進会」など5つの組織が共同署名した「王寧への公開書簡」という声明の中で、あなたは「中国とモンゴル国の情報当局が協力して内モンゴル人民党内に混乱を引き起こし、席海明（テムチルト・ショブチョード）を党総裁の座から排除し、国外にいる南モンゴル組織の分裂を工作員を通じて図った」と述べています。このでっち上げられた主張の発案者は誰ですか？この公開書簡の著者は誰ですか？あなたは本当にこの主張を信じているのですか？あなたやあなたのグループがこの主張を裏付ける証拠は何ですか？その証拠を公に示していただけませんか？
2. 昨年7月、私は台湾のジャーナリストとのインタビューで席海明がすでに中国当局に屈服していることを知りました。その2日後、あなたの上司であり、あなたの党の創設者であるルーピングレル氏から電話があり、「席海明がずっと前から中国当局に屈服していることは、私たちみんなよく知っている」と話してくれました。つまり、あなたも席海明が中国当局に屈したことを十分に知っていたということですか。それなのになぜ、そんな人物を南モンゴル議会（クリルタイ）準備委員会の議長にしたのですか？これはまさに陰謀ではないですか！もちろん、私があなた方を「裏切り者」や「降伏者」と呼んだら、あなた方は受け入れないでしょう。しかし、なぜこのような不可解な行動を取ったのか、説明を求めます。
3. あなたのかつての大学の同級生たちは、内モンゴルの大学時代に、あなたが民族的な感情をほんの少しも示さなかったことを証言しています。また、あなたの元同僚たちも、あなたが日本で「民族主義者」になったことに驚き、今でも信じられないと話しています。多くの人々は、あなたが安全で自由な国に身を置きながら、自分の利益のために勇敢なふりをしているだけの機会主義者だと考えています。あなたは私の言うことを快く思わないでしょうが、事実は事実です。もしそれに異議があるなら、劉曉波（リウ・シャオボー）のように、中国に戻って中国当局と闘うことでそれを証明してください。
4. 自由と独立の関係とは何でしょうか？あなたには国家の独立を主張する勇気がないと私は信じています。そう言う理由は、席海明がいまだに例の「二元所有論」を捨てていないからです。あなたは中国人植民問題を取り上げ、確固たる解決策を提案する自信がありません。ダライ・ラマの「中道」アプローチを盲目的に追随しているだけです。これでは、南モンゴルの将来に関して、あなたが中国の枠組みの中にとどまっていることを示すにすぎません。

5. 7月15日に発表された南モンゴル議会（クリルタイ）設立に関するあなたの声明では、南モンゴルのために「奉仕する」あるいは「何かをする」と約束しているようです。しかし、あなたとわずかな仲間たちに南モンゴルのために何ができるというのでしょうか。私はその声明に非常に疑いを持っています。私や私の家族の名前を利用して日本で資金を集めながら、その資金を渡すことを拒否したあなたのような人を、どうやって信じられるのでしょうか。あなたは南モンゴル自由民主運動基金会の会長ではないのですか？
6. いわゆる「南モンゴル議会（クリルタイ）準備委員会」は、実際にはあなたと席海明のたった二人によって独断的に設立されたものです。あなた方は南モンゴルの独立を求めて戦う人々を排除しただけでなく、席海明は内モンゴル人民党のメンバーを粛清するとまで脅しました。その結果、彼自身が党の党首職から多数決で解任されました。席海明は内モンゴル人民党に深刻な分裂を持ち込んだだけでなく、南モンゴル抵抗運動全体の破壊と分裂を現在進行形で行っています。あなたはこれらの経緯をすべて十分に知っているはずですが、それなのに、わずかな人数で、いかなる代償を払っても「南モンゴル議会（クリルタイ）」を設立しようと頑なに試みています。あなたは自分の行動に対して完全に責任を負う覚悟があるのでしょうか？
7. 今年4月下旬、インドでの会合において、会合の主催者は正式に席海明を「内モンゴル人民党の前党首」として受け入れ、その事実に基づいてメディアも一貫して報道していました。同じ時期に、内モンゴル人民党の党首であるドルギオンも席海明と会合を持ちましたが、意義のある合意には至りませんでした。ところが2週間後、席海明は再びドルギオンを党から追放すると主張しました。あなたはこのことを知らないはずがありません。中国人から与えられた肩書を自ら冠しているような席海明が、どうして南モンゴル議会（クリルタイ）の議長として適任だと言えるのですか？
8. 席海明は、内モンゴル人民党の憲法に違反したことや、数々の不正行為、そして個人的な誠実さがまったく欠如していることにより、党首の職を解任されただけでなく、モンゴル人社会でも悪名高くなっています。現在彼が持っているのは、中国によって与えられた「中国・モンゴル・チベット・ウイグル委員会議長」という空疎な肩書にすぎません。あなたはこのことを十分承知しているはずですが、それにもかかわらず、昨年、あなたは席海明をおだてて「生き仏」と呼ぶ記事を書きました。席海明は、ほんの一握りの人々にとって「生き仏」かもしれませんが、モンゴル人にとっては決してそうではありません。
9. 記憶が正しければ、今年の3月14日、あなたは数名とともにチベット蜂起記念のデモに参加しました。では、なぜ私たちのモンゴル蜂起の記念日である5月11日は祝わないのでしょうか？これは、私たち自身の民族の利益が常に他の民族や人々の利益よりも軽視されていると理解してよいのでしょうか？あなたは頻

繁にインドへ飛ぶためにかなりの費用を使っています。それは、モンゴル人がチベット人を真似しなければ自分たちの議会を持つことができないということなの
でしょうか？なぜモンゴル人は盲目的に他者に従わなければならないのですか？